

東海眼科

所在地 三重県津市羽所町 399

☎ 059-228-8111

スタッフ 中井義秀院長☆(網膜硝子体、白内障)、別所京子☆(緑内障、白内障)、生野裕子☆(緑内障、白内障)の勤務医 3 人。非常勤医(京都府立医大):川崎諭☆(角膜)、荒木美治☆(眼窩形成、涙器)、丸山和一☆(ぶどう膜炎)、松田彰☆(アレルギー)。

特色 365 日 24 時間、眼科の救急受付を行っている。3D 光干渉断層計先進医療認定施設。レーザー近視手術 LASIK、加齢黄斑変性症の光線力学療法 PDT、穿孔性眼外傷・網膜剥離、角膜移植等、眼科全般の診療、手術を行っている。

症例数・治療・成績 過去 1 年間の外来患者数は延べ 48,593 例、夜 8 時以降の時間外救急患者は年間約 2,000 人で、コンタクトレンズや溶接による角膜障害等が多いが、穿孔性外傷、眼窩底骨折など、入院・手術が必要な重症例は 5% 程度。初診患者数は 6,443 例、総手術件数は 1,662 例、レーザーは 1,327 例。手術の内訳は白内障 1,099 例(入院 721 例、日帰り 378 例)、網膜硝子体 301 例、近視矯正エキシマレーザー LASIK 等 88 例、眼瞼下垂 64 例、緑内障 30 例、その他(外傷、霰粒腫等)168 例。レーザーの内訳は糖尿病網膜症等のマルチカラーレーザー延べ 1,106 例、光線力学療法 PDT 59 例、その他 YAG、TTT 等 162 例。白内障手術のほとんどは 2.2mm 極小切開。硝子体手術も 95% は 25G の極小切開で行い、手術時間短縮および術後合併症軽減と早期視力回復を得ている。糖尿病網膜症や加齢黄斑変性は HRA-2 を用いてフラッシュなしで患者様への負担をかけずフルオと ICG 同時造影検査をし、必要時マルチカラーレーザーや光線力学療法 PDT や温熱療法 TTT アバスタチン硝子体注入をしている。重篤な全身疾患を有する場合は三重大学で、角膜・眼窩疾患の極めて重症な例は京都府立医大に依頼している。

医療設備 HRA-2(蛍光、ICG)、3D-OCT 光干渉断層器、多局所 ERG、ORBSCAN 等の各種検査器、アキュラス硝子体、インフィニティ白内障、ツァイス顕微鏡などの各種手術器。

外来診療 月・火・水・木・土。受付は午前 8 時～12 時、午後 3 時 30 分～8 時、日・祭日は午前 8 時～12 時。中井院長=火を除く午前。休診は金。